

(仮称) 第3次前橋市地域福祉計画(案)に関するパブリックコメント実施結果について

社会福祉課

1 意見募集期間

令和8年1月5日(月)から令和8年2月5日(木)まで

2 意見提出状況

(1) 意見提出者数: 4人

(2) 意見提出件数: 16件

(3) 意見の内訳

区分	項目	件数
1	基本理念・計画の枠組み	3件
2	3つの方向性(人・環境・仕組み)	9件
3	アンケート・住民意見の反映	2件
4	地域・対象者別の配慮	1件
5	参加・周知・合意形成	1件

合計 16件

3 意見及び市の考え方の公表

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見を要約して、市の考え方を説明しています。

貴重なご意見ありがとうございました。

1 基本理念・計画の枠組み

No	意見の概要等	市の考え方
1	基本理念の表現がやや抽象的であり、計画としてどのような姿を目指し、どのように実行していくのかが市民にとってイメージしにくいと感じる。具体的な行動や成果との関係をもう少し明確に示してほしい。	本計画は、地域福祉の総合計画として「みんなでつながり合い支え合う笑顔のまえばし」を基本理念に据え、3つの方向性と、それぞれの視点と、5年後・20年後の姿で段階的な実行像を示しています。 次期計画に繋ぐため、定量的な指標に加え質的指標（市民ヒアリング等）で進捗評価・見直しを行います。
2	10年計画から5年計画へ短縮した理由は？	人口構造の変化や生活課題の複雑化等、環境の変動に柔軟に対応するため、5年単位で、質的指標も用いながら適時見直す機動性を重視しました。なお、前計画は10年で中間見直しを行っていました。
3	地域福祉計画と地域福祉活動計画を分けて策定することで、どのようなメリットがあるのかが分かりにくいので、両計画の役割分担や連携の考え方を明確にしてほしいです。	本市が策定する地域福祉計画については全体の理念・全体枠組みを規定し、前橋市社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画については住民・地域の具体取組として明確化しました。各主体が実情に応じて柔軟に活動を設計しやすくなり、活動計画とも整合・連携を図ります。

2 3つの方向性（人・環境・仕組み）

No	意見の概要等	市の考え方
1	「人づくり」で示されている情報発信人材の育成について、具体的にどのような人を想定しているのかが分かりにくい。対象や育成方法、活動のイメージを知りたい。	地域の取組・支援情報が届く状態をつくるため、SNS・ICT等を活用できる地域の広報担い手等を育成します。子ども・若者の参画も促し、世代横断での情報循環を目指します。
2	方向性1のひとづくりでは、他人事ではなく自分事と考える地域の人が多くなる必要があると思いました。	地域福祉を推進するうえでは、課題を「自分事」として捉える市民を増やすことが重要であると認識しています。本計画では、身近な関わりや小さな参加を通じて、主体的に地域に関わる人づくりを進めていきます。
3	地域活動やボランティアへの参加について、忙しい人や初めての人にはハードルが高いと感じる。 参加しやすくするための具体的な工夫	地域活動やボランティアが身近なものとなるよう、気軽に关われる場の拡充に努めます。

	や仕組みを示してほしい。	
4	ICT を活用した相談体制について、高齢者や障害のある方にとって使いにくくないか不安です。デジタルが苦手な人への配慮や支援をどのように考えているのか知りたいです。	来所・電話・訪問等の既存窓口も維持し、ICTは選択肢の拡充として位置づけます。デジタルが苦手な人への操作支援や家族・地域のつなぎ手の支援も含め、多方面から相談できる体制を目指します。
5	「環境づくり」について地域リーダーの負担が偏る懸念がある。	地域組織における役割分担の明確化・役割の分散・交代制を推進し、属人的でない運営に移行を目指します。
6	方向性2の環境づくりでは、地域の助け合い活動が気軽にできる集まりがあると参加しやすいと思いました。	地域の助け合い活動に気軽に参加できる「場」の存在は重要であると認識しています。本計画では、交流の場等の充実を図り、誰もが無理なく参加できる環境づくりを進めていきます。
7	相談窓口が複数あることで、どこに相談すればよいか分からず、結果的にたらい回しになるのではないかと心配している。相談者の視点に立った対応が重要だと思う。	市の窓口や支援関係機関において、属性や世代を問わずに相談を受け止め、適切な支援機関等に繋げられる体制を目指します。複合的な課題にも対応できる包括的支援体制の整備を図ります。
8	「仕組みづくり」：防災・防犯と福祉の連携の具体像は？	防災・防犯関係機関と地域組織との連携により、要配慮者を含む平時からの訓練や見守りと情報共有を図ります。
9	方向性3の仕組みづくりでは、自分が出来ることを出来る範囲で行えるような地域の仕組みが出来るとよいと思いました。	一人ひとりが無理のない範囲で役割を担える仕組みづくりは重要であると考えています。本計画では、個々の得意分野や状況に応じた関わり方を選択できる仕組みを整え、持続可能な地域支え合い体制の構築を進めていきます。

3 アンケート・住民意見の反映

No	意見の概要等	市の考え方
1	アンケート結果では防犯や災害への不安が高い割合を占めているが、これらの声が計画の中でどのように反映されているのかを知りたい。	市民アンケートの結果を踏まえ、方向性2で地域のつながりを、方向性3で防災・防犯と福祉の連携を計画に盛り込みました。
2	介護の不安が低く出ているが、実態とギャップがあるのでは？	要介護認定率は上昇しており、ご意見のとおり介護に関する潜在的な不安は存在するものと考えます。アンケート結果とともにデータも重視した施策を推進します。

4 地域・対象者別の配慮

No	意見の概要等	市の考え方
1	子どもが地域の中で安心して過ごせる体験の場や居場所づくりがまだ十分ではないと感じる。成長につながる機会をもっと増やしてほしい。	方向性1（人づくり）で子どもや子育て世帯の意見を反映した地域課題を共に考えられるような人材の育成を位置づけています。地域の意見を反映した施策の推進に努めていきます。

5 参加・周知・合意形成

No	意見の概要等	市の考え方
1	地域活動への参加について、最初の一歩を踏み出すことが難しい人も多いと思います。小さな関わりから参加できる仕組みや、若い世代が関われる工夫が必要だと思えます。	例えばご近所へのあいさつなどの小さな関わりから参加することが重要なことです。若い世代をはじめ、多くの方が自分に出来る範囲で地域活動に参加していただけるよう、社会福祉協議会と連携して取り組みを進めます。